



発行所 塗料報知新聞社
編集印刷発行人 有馬得之
本社 電話(03)3260-6111
東京都新宿区矢来町3番地
FAX (03)3260-6116
振替口座 00170-5-196510番

際立つ付加価値を
"媒体"と"事業"で提供
est. In 1946
購読料1か年(消費税込み)30,800円
URL https://www.e-tenryo.co.jp
日本専門新聞
協会加盟紙
©塗料報知新聞社 2024

新聞記事は著作権
上、保護されてい
ます。必要な際
は下記までご相談
下さい。
塗料報知新聞社
事務局
☎03・3260・6111

業界Flash

- 1面 【団体】日塗工がコーティング・ケア宣言会社連絡会を開催
1・4~6面 【特集】機器設備・関連資材
2~3面 【共同企画】専門紙・誌5社共同キャンペーン地域が創る復興・活性化の未来図インタビュー/5社レポート
7面 【企業】旭サナックが第138回ユーザー技術教室(UTS)を開く
8~9面 【特集】原料製造・商社

Cケア宣言会社連絡会20周年

健康・安全・環境活動を推進
塗料固化システム見学

日本塗料工業会

日本塗料工業会は、「2024年度コーティング・ケア宣言会社連絡会」を11月1日午後1時~5時までリアルとオンラインで開催した。今回、同連絡会20周年の節目にあたり、リアル参加52人、オンライン参加21人、意見交換会には45人が集まった。

午後1時にJR大宮駅西口ソニックシティ前に集まった一行は、廃塗料処理の専門許可工場・環美の上尾第二工場(埼玉県上尾市)を見学。その後、大宮市に戻り、TKP大宮駅西口カンファレンスセンターで意見交換会を開き、コーティン

工場見学と事例報告

が行われた。終了後、会場を移し、意見交換懇親会が催された。今回の工場見学先について、コーティング・ケア推進部会事務局の大澤隆英氏(日塗上安全環境部長)は、「安全・環境管理の2023年度実績調査の『廃棄物発生量、再資源化量、外部処理量』において、汚泥、焼却灰・廃材の再資源化率がこ

数年横ばいの約40~50%で推移したままであることから、再資源化に向けての一助として、固化処理プラント施設を持つ環美の見学を企画したと話す。塗料混練固化処理システムを開発した環美(埼玉県上尾市)は、廃塗料安定固化処理において100%リサイクルの完全循環型の処理を実現。独自開発の安定固化剤により、廃塗料を瞬時に有害物質・重金属などが再溶出ししない処理方法で法定基準内に無害化処理し、その後、100%リサイクル原料として、セメント工場などで再利用(再資源化)されている。

同社の井出次男社長は「当初、できるわけがない、貴社が出来るなら大手法とつくいやっている」と言われたそうですが、技術を裏面しながら説得して回った。いまではセメント会社から「ごんごん

持っている。皆さんが作った塗料を産業廃棄物にしない。産業廃棄物を減らすべく、そのサイクルを大事にしたい。最後まで塗料を役立ててもらえるよう、環境産業にしたい」と続けた。
また、同社は平成23年度東京都経営革新優秀賞において、奨励賞(廃塗料固化剤と処理システム)による事業展開を受賞。余った塗料や期限切れ塗料を固化する処理剤と処理システムを開発し、事業化したと評価されている。現在、塗料以外の再利用の声も届くようだが、まだ塗料に特化し、研究を重ねたいとしている。



①環美の工場を見学。塗料混練固化処理システムの説明を受ける②意見交換会風景

さんが良い塗料の開発をすれば、それだけ固化に苦勞することになる、しかし、化学薬品を使わないのが信条。その研究開発に負けないように頑張るって何とか技術を向上させたい」と続けた。

工場見学を終え、会場にて意見交換会が開かれた。
宣言会社事例報告では、アサヒペンの兵庫工場製造部油性塗料チームリーダー樋口良一氏が、保安防災への取組みや地域社会との関わり、令和6年に健康宣言の証(協会けんぽ大阪支部)に登録などについて、またカーナエ塗料の品質保証部次長藤永光之氏が、改正安

閉会にあたり、コーティング・ケア推進部会副会長の北村倍章氏は「皆さんの協力のもと、ご健康・安全・環境を保持する活動に取り組んでいこう。VRも手掛けているので、活用してほしい」と乾杯の発声があり、懇談に入った。

国内向けは上昇傾向

塗言録

師走を迎え年内最後に案内しようとするのが展示会。人と直接対面し、製品の特長や機能性をアピールしたり、お客様対応による営業面での教育に繋がるなど、出展者のメリットは大きい。有益な情報を手に入れることができる来場者も同様だ。先般、ある展示会の出展者に話を聞くと「来場者は多くはないが、相性は良い」と、ビジネスに直結している印象を受けた。塗料・塗装業界からは、今年の展示会ではSURTECH、コーティングジャパン(大阪・東京)のほか、DIYホームセンターショーに多数の出展があった。こうしたさまざまなフィールドを持つ展示会に出展できるのは、裾野が広い業界であり、それを知らしめる良い機会だ。来週開催される、建築・建設等の最新サービスが集結する大規模な展示会「ジャパンビルド」(東京)に、塗料塗装普及委員会(日塗工・日塗商・日塗装)がイベント・パビリオンと